



『心の育み』のさらなる充実 を目指して

新庄市立明倫中学校

明倫中では、「命の尊厳を根底に据えた心の教育（心の育み）」を学校経営の重点として掲げ、全教育活動を通し、いのちの大切さを指導してきました。また、地域も一体となった生徒の健全な成長を見守る体制作りも定着しており、生徒の生き生きとした活動が根付きつつあります。

毎年行われる「いのちを深く考える日」「心の集い」「運動会」「明友祭」などの行事による心の成長はとても大きなものがあります。さらに普段の授業や日常生活における「心の教育」を系統的に仕組むことで、より実践力を伴った生徒を育てることができるという考えのもと、「心の育みプラン」に基づいて実践を積み重ねてきています。

今年度は、自分の考えを自信を持って伝えることができるような人間関係づくりを一層進め、実践力を高めることに重点を置いていきたいと考えています。

重点及び手立て

- ① 各学年の道徳担当を中心に、その時期に合った教材や話し合い活動を中心にした資料の選定を行い、自分の考えを人に伝えるための気持ちとスキルを培うと共に、学活・各教科領域における話し合い活動や人間関係トレーニングを組み込むことで、生徒の自浄能力を高め、実践力を身につけることができるように支援していく。
- ② 諸行事に関連させながら心の成長に関わる授業や振り返りの時間を系統的に仕組み、シートにその時々思いを綴らせ教室内外に掲示していくことで、成長を認め合う機会とする。
- ③ 「いのちを深く考える日」を「心の育み」の集大成と位置付け、自他の大切さを認め合い、「いのち」がかけがえないものであることや、生きることを見つめ直す機会となるような「いのちの授業」を各教科で計画し、実施していく。

普段の授業や行事での「心の教育」の取り組みの他に、生徒の実践力を発揮する場の一つとして、明倫中学校区小中一貫教育の取り組みがあります。中でも交流部門における応援活動などは、先輩としての自覚や応援に向かう使命感、自己有用感に通じ、自信を高めています。また、小中合同での地域貢献活動のリーダーとして小学生の前に立つことで、自分の姿を客観的にとらえ、まわりに気を配りながら行動する姿が見られます。

いのちの授業 (家庭科)

さまざまな教科でも「いのち」をテーマに授業実践しています。



各部への 応援メッセージ

中体連が近くなると、たくさんの生徒から応援のメッセージが貼り出されます。



沼田小での 応援

応援団が小学校へ訪れ、激励します。



小学校の メッセージ紹介

大会前に小学校から届いた応援メッセージを紹介し、選手達も気合いが入ります。



小中ボランティア プレゼン

小学生と一緒にボランティアをするにあたって事前に小学生に説明します。



小中ボランティア (体験学習)

中学生がリーダーとなり、一緒に作業を進めていきます。

